

ぱしふいっくびいなすが離日

2023-12-7 池田良穂

本日、去る1月に運航を終了した日本クルーズ客船運航の「ぱしふいっくびいなす」が、11ヶ月余り係船されていた相生の地を後にして、中国に向いました。先のニュースでも配信したように、府録会員から7日11時に明石海峡を東向きに通過するとの情報をいただいていたので、淡路島北端の岩屋でお見送りをすることにしました。当日は朝方まで寒冷前線の通過で雨が降り、天気予報では西風が強くなって黄砂もやってくるとのことでしたので、若干岩屋にでかけるのを迷いましたが、AIS情報で8時過ぎには相生港を出港したのが確認できたので、撮影にでかけることにしました。

10時には岩屋北端の道の駅に到着しましたが、時々、どす黒い雲が広がり、黄砂のせいか視界もあまりよくありません。待つ間にAISでチェックしてみると、船名はEastern Venusで、船籍はパナマに変わっていました。ただ船主はSHIN NIHONKAI/SHIN KYOWA/KANKO、船舶管理者はJAPAN CRUISE LIN INCとなっていました。これはAISの登録を変えるのをさぼっただけなのかもしれません。船は相生を出て真つすぐに南下しており、もしかすると強風のために瀬戸内海通過に航路を変更したのかと不安に思いましたが、備讃瀬戸の幹線航路と合流すると北西に針路を変えて明石海峡に向って13ノットほどのスピードで近づいてきました。

同船が明石海峡にさしかかる頃には、雲も切れて晴天が広がりました。海峡の航路は右側通行なので、淡路島寄りを通過すると思っていましたが、北側の西航航路を横断して、明石側に大きく膨らむように進み、明石海峡大橋の直前で東航航路に復帰するという、これまでには見たことのない航跡を描いて、明石海峡を通過していきました。先に大阪湾側から西向きに明石海峡に入った大型バルクが左寄りにずれていたのか、もしくは西向きの強風の影響を考慮したのかもしれません。護岸でお会いした中濱会員曰く、「パイロットが乗船していると表記されているので、問題のない航法なのでは」とのことでした。

AIS情報によると目的地は中国のSHIDAO(石島)。中濱さんのお話では、韓国の会社に売却されたとの情報もあるとのことでした。中国にせよ、韓国にせよ、東アジア周辺でのクルーズに就航する可能性もありそうですので、塗装を変えて日本に寄港することもあるかもしれません。今後の彼女の活躍を祈りたいと思います。



姿を現わした「イースタン・ビーナス」は、明石海峡に近づくと航路を外れて明石側に向って北上しました。



海峡に入る手前で、針路を大きく西にとって明石海峡へと入ってきました。



明石海峡大橋の下を通過して大阪湾に入りました。



明石～岩屋航路の「まりーんふらわあ」と中国へと旅立つ「イースタン・ビーナス」の姿です。次に来日する時には、どんな装いで現れるでしょうか。楽しみです。